



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市図書館報

2014年8月15日発行

Contents

わがまちSai発見.....	1,2	本棚ぶらり 大人も楽しめる絵本の世界.....	3
ハロー!来・ぶ・ら・り 古本バザール・リサイクルを実施します.....	4		

わがまち
Sai 発見

わかまちこういち
若田光一さん
帰還記念

さいたま市宇宙劇場
に行ってきました!!

国際宇宙ステーション（ISS）で日本人初の船長を務めた若田光一さん。今年5月14日地球に無事に帰還され、8月20日には市内でミッション報告会も開催されます。今回はさいたま市出身の若田さんの帰還を中継するパブリックビューイングが行われた「さいたま市宇宙劇場」に行ってきました。

さいたま市宇宙劇場は大宮駅西口から徒歩5分、
JACK大宮というビルの3階に入口があります。

プラネタリウム

宇宙劇場のプラネタリウムは地球から見た満天の星空だけでなく、地球以外の太陽系の惑星から見た宇宙や1万年後の宇宙を投影することができます。

その秘密はプラネタリウム本体である恒星投影機と惑星投影機の他に、多くの補助投影機が一体となってコントロールされているからです。

優れた機器を使用した番組と解説により、美しい星空を楽しむことができます。



入口では若田さんの写真が待っています

超大型映画（オムニマックス）

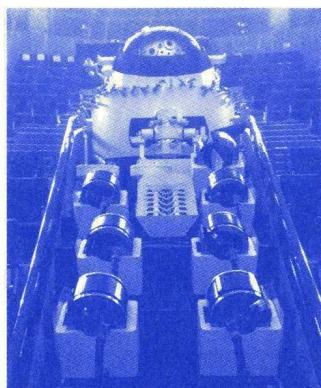
プラネタリウムと交互に上映される超大型映画では、画面の隅々まで鮮明な映像が楽しめます。この映画で使われているフィルムの大きさは通常の映画用35ミリフィルムの10倍もあります。ロビーのガラス越しに映写機が動く様子を見るのも楽しみのひとつです。

3階ロビー

星雲などを調べることができる端末や投影中のプログラムに合わせた展示コーナー、宇宙食が買える売店などがあります。

5階ロビー

宇宙劇場に行ったら、無料で入ることができる5階展示スペースものぞいてみましょう。目玉は若田さん直筆の「書」。墨ではなくコーヒーで書いてあります。



プラネタリウムの投影機

このほか、天体観望会や「星空ファンタジー」「生演奏の夕べ」といったイベントや特別プログラムが開催されています。詳細はホームページをご覧ください。

YACを知っていますか？

YACとは「Young Astronauts Club」の略で、日本宇宙少年団のことです。日本本部の団長は、日本人で始めてスペースシャトルに乗った毛利衛さん。^{もうりまおる}世界中に組織があり、国際交流も盛んです。

宇宙劇場にはYACのさいたま支部の事務局があります。小学1年生から参加できるYACは、天体観測などの宇宙に関する活動だけでなく、化石を探しに行ったり集音器をつくったりと幅広いテーマで活動しています。

YACの入団お申し込み・お問合せはJACK大宮5階の宇宙劇場事務室まで。

宇宙劇場で働いている3人の方にお勧めの本を伺いました

あずさめ

糸賀館長

『アジアの星物語

東アジア・太平洋地域の星と宇宙の神話・伝説

海部宣男／監修、柿田紀子・川本光子／邦訳 万葉舎

2014年

この本は、日本を含めた東アジア地域・太平洋地域の星と宇宙にまつわる神話、伝説を集めた本です。アジアの文化圏に根ざした神話、伝説は、どこか親しみやすいや懐かしさを感じるものもあるのではないでしょうか。

カラーの挿絵も魅力的です。ぜひ一度、手にとってページをめくって見てください。

『天文学入門 カラー版』

岩波ジュニア新書

嶺重慎／編著 岩波書店 2005年

星を見て、宇宙に興味を持ったすべての人に読んでいただきたい本です。

今からおよそ137億年前に宇宙が誕生しました。そして、星が生まれ、その星が爆発して、また、新しい星が

生まれ・・・そうした繰り返しの後、太陽系が誕生し、地球上に生命が生まれ、やがて、人類が、そして自分が生まれる。人と宇宙はつながっている。そんなことを教えてくれる本です。

あずさめ

高橋さん

『宇宙への秘密の鍵』

ルーシー・ホーキング／作 岩崎書店 2008年

ファンタジー小説は大好き！でも科学の本はちょっと苦手・・・そんな人におすすめの本です。

世界一優秀で、ちょっと生意気なコンピューター、“コスモス”に導かれて、宇宙冒険に出発しましょう！

ところどころにきれいな写真やイラスト付の解説ページも入っていて、冒険物語と宇宙の不思議が一緒に楽しめます。

『ロケットボーイズ』上・下

ホーマー・ヒッカム・ジュニア／著 草思社 2000年

1957年10月、ソ連は世界初の人工衛星スプートニク1号を打ち上げました。スプートニク1号が空を横切るのを見上げたアメリカ人の少年は、仲間と一緒に自分たちの手でロケットを打ち上げようと奮闘します。

情熱のままに突き進む少年たちの姿にすっかり引き込まれてしまいます。そして、そんな彼らを見守り、励まし、力を貸してくれる大人たち。愛と笑いとナミダがいっぱい詰まった一冊です。

あずさめ

大友さん

『おまけのこ』

畠中恵／著 新潮社 2005年

妖（あやかし）が見える若旦那、一太郎と妖たちが難事件を解決する「しゃばけ」シリーズ第4弾。

今回は、家を軋ませる小鬼が、大好きな若だんなのためにがんばります。

さいたま市宇宙劇場

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2JACK大宮3階
TEL: 048-647-0011 テレフォンサービス: 048-641-1999
ホームページ: <http://www.uchiyugekijo.jp/>



コーヒーで
書かれている
若田さん自筆
の書